

地域おこし協力隊とは

「地域おこし協力隊」とは、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において都市部の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住定着を図ることで地域力の向上を目指す総務省による取組みです。

具体的には、地方自治体が首都圏等の都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊として委嘱、おおむね1年以上3年以下の期間、地域で生活しながら、様々な地域協力活動に従事しています。

地域おこし協力隊員の活動に要する経費については、総務省からの財政支援により地域おこし協力隊員一人あたり400万円を上限として設定されています。(報償費等については200万円を上限、報償費等以外の活動に要する経費については200万円を上限)

朝日町地域おこし協力隊になるには

- ① 協力隊の募集情報を確認します。
(随時、朝日町ホームページ・広報誌に掲載しています)
- ② 応募します。
- ③ 書類審査や面接等があります。
- ④ 「朝日町地域おこし協力隊」として委嘱されます。
- ⑤ 現住所から朝日町に住民票を異動し、地域おこし協力隊としての活動を開始します。

朝日町地域おこし協力隊の情報はこちら



facebook. twitter

お問い合わせ先

朝日町地域振興課

〒939-0793 富山県下新川郡朝日町道下1133

TEL : 0765-83-1100

FAX : 0765-83-1109

Mail : info@int.town.asahi.toyama.jp

http://www.town.asahi.toyama.jp

朝日町地域おこし協力隊

検索



朝日町地域おこし協力隊 活動報告



私たち
まめなけっちや

いました

2017

伊藤浩太郎

- ①茨城県 ②2年目
- ③サブカルチャー(アニメ・マンガ)・野球
- ④幼少期から森や山や川で遊ぶのが好きでした。時が経ち、いつしか「田舎で暮らしたい」と変換されていきました。それを実現すべく、高校卒業後に地元神奈川県から茨城県へ移住。6年間過ごしましたがさらなる刺激と自身の成長を求めて富山県朝日町へ移住してきました。



横山理恵

- ①東京都 ②1年目
- ③手芸・ペットの鳥と遊ぶ・登山
- ④登山を始めるようになってから「田舎暮らし」に憧れる様になり、主人がたまたま行った富山県の移住セミナーで朝日町移住体験ツアーを知り参加したことがきっかけで移住を決めました。他の地区を検討することもなく朝日町に決めたのはそれだけ朝日町や人に魅力を感じたからだと思います。

遠藤耕司

- ①岐阜県 ②2年目
- ③なし
- ④もともと農業をしていたので他の地域ではどのような農業を行っているのか知りたかったため。出身地である岐阜県からアクセスの良い場所での移住先を探していたところ、朝日町の地域おこし協力隊の募集を見つけたので応募しました。



中村彩乃

- ①兵庫県 ②1年目
- ③読書・マイナー映画を観ること
ラジオを聴くこと・ヨガ
- ④突然、相棒が田舎で暮らしてみたいと言い出し、そんな人を引き付ける田舎というところには何かあるのかわりたくなったため。富山県を選んだのは、大阪ふるさと暮らし情報センターで出会った岐阜県担当のおじさんがやる気がなくてダメダメでたまたま隣にいた富山県担当のお姉さんが輝いて見えたから。



服部彩子

- ①静岡県 ②2年目
- ③猫と遊ぶこと・文房具
- ④夫(大介)が田舎暮らしをしたいと言いだしたので!!
最初、移住にはあまり乗り気ではなかったのですが移住フェアやセミナーなどに参加するうちに「移住ってなんだか楽しそう!」とテンションアップ。
夫はこれからの生き方や働き方など色々考えた上で「移住でしたが私の場合はほぼ「勢い!」です。



Question

- ①どこから来た? ②何年目?
- ③趣味は? ④移住のきっかけは?

服部大介

- ①静岡県 ②2年目
- ③旅行・ツーリング
- ④社会人生活を続ける中で、幸せになるために働き方やそれ以外の生活を考えたいと、何時からか強く考える様になりました。海、山、農地などが「ドライブ良く存在する地域に住みたい」といくつか候補地を回りました。その中で参加した農業体験ツアーで朝日町に出会い、しばし考えを家に移住を決意しました。



小松裕亮

- ①神奈川県 ②1年目 ③餃子食べ歩き・スポーツ観戦
- ④2016年の夏に、朝日町蛭谷で空き家・耕作放棄地の活用をテーマとしたインターンシップに参加したのがきっかけです。そこで夢創塾の塾長の長崎喜一さんに会い、その人柄、活動にとっても惹かれ、朝日町の景色空気の良い、人柄にとっても感動をうけ移住を決めました。



池田まゆ

- ①神奈川県 ③3年目
- ③海を眺める・食べることにらぐがき・ピアノ
コシという趣味がないことに気付きました…。
今年は釣りやマリンスポーツに挑戦し、趣味にしたいです。
- ④海辺の田舎に住みたかった。
私の地元は横浜といえど、海が近くにあるわけではないので、田舎におこがれていました。
夏休み「おばあちゃんの田舎に帰る」という友達が集まってきた。人々との繋がりが感じられる生活をしたかった。「おおかみ子どもの雨と雪」で知られる細田守監督が富山県出身だった。



堀一敦子

- ①東京都 ②1年目 ③睡眠・手芸
- ④私は朝日町野町の生まれです。10年ほど東京に住んでいました。帰ってくる契機となったのは殿町が集落営農をはじめたことです。それまでは帰省といえど年末年始やお盆でしたが、農業をはじめてから「帰ってこい」と言われる時期が自然と田植えと稲刈りの時期にずれていきました。そうして農業に触れ出したのがきっかけです。



木和田兼弘

- ①神奈川県 ②1年目
- ③サッカー&フットサル・読書・化石集め
- ④東日本大震災をきっかけに都会に住むことに疑問を感じた事と、自然の近くに住みたいと言う思いがあり移住先を探している時に、偶然「富山県朝日町」を知り実際にいった時に自然との距離感に一目惚れし移住しました!



鈴木理沙

- ①東京都 ②1年目 ③寺社仏閣散歩
- ④一緒に隊員となった堀一さんの実家で数年前から田植え、稲刈りのお手伝いをしており農業の大変さ、楽しさ、やりがいを感じていました。
その頃朝日町で地域おこし協力隊の募集をしているお話を聞き、いまままで経験したことのない事を一から学び自分自身に挑戦してみること、そして農業を通して何か朝日町のためになることをしたいと思い移住しました。



朝日町 地域おこし協力隊 プロフィール

池田 まゆ

MAYU IKEDA



2017年をふりかえって

2017年は協力隊が「個」から「チーム」になった1年でした。これまでは、各々に動くことが多かったのですが、今年度からは隊員同士力を合わせてチームで活動し、町内外にPRすることができたと思います。主催で行ってきたあさひシーサイドドッグランは、4月から延べ213匹(12月現在)の来場がありました。前年同日と比べてみても、初年度よりたくさんのわんちゃんが遊びに来てくれて、新たに50匹の仲間が増えました。犬を通して参加者のキラキラした笑顔を見ると、私も幸せな気持ちになります。ドッグランの立ち上げと運営に力を貸してくれた地域の方々に感謝でいっぱいです。来年度も、多くの人を楽しめる場所にしていくのと同時に、協力隊任期後もうまく運営される仕組み作りを考えていきたいと思っています。

2017年の主な活動

- 4月/8月/11月 朝日町フォトコンテスト「#いいねか朝日」
- 10月 ハロウィンイベント「ボクとワタシの大冒険」
- 12月 受験生に応援メッセージを届けよう
- 協力隊のぼり旗、協力隊オリジナル不織布の製作など
- 随時 あさひシーサイドドッグラン



まゆのキ・モ・チ…♡

気づけば、協力隊としてこのまちで暮らすのも、あと半年。移住当初は、誰も知らない、縁もゆかりもない土地に住むことができるのか、実は自信がありませんでした。(笑)けれども、この2年半の間に朝日の美しい風景や素敵な方々に出会ったり、自然や季節に沿った生活をしていくうちに、今ではここでの暮らしが「わたしの日常」になりつつあります。

なにより、朝日での暮らしは「生きている感じ」がします。いっぽうで、地域を考える仕事をしているからこそ、地元・横浜もわたしにとって大切な場所です。今まさに、任期後「どこに住むか問題」で揺れています。…「ずっとおられま」と富山井で声をかけていただくたびに、来年の今、わたしはどこで何してるんだろう、と思う日々です。

横山 理恵

RIE YOKOYAMA



2017年をふりかえって

1月に朝日町の移住体験ツアーに参加し5月に引っ越し、6月には地域おこし協力隊として活動をはじめ、目まぐるしく変わった1年でした。今まで民間会社のサービス業にしか就いたことがなかった私には“役場仕事”は、本当に慣れない環境でとても戸惑いました。

しかし職員の方々に助けられ内容の濃い1年を過ごすことが出来ました。

2017年の主な活動

- 8月～ まめなけ新聞の発行(毎月)
- 10月 オータムフェスタ出店
- 11月 CRAFTあさひ～たなごころの気持ち～出店
- 12月 Christmas Jazz Night 企画・運営
- 随時 アサヒレトロ散歩・移住ツアー・セミナー参加
- 朝日小屋手伝い(小屋開き・小屋締めなど)



理恵のキ・モ・チ…♡

2017年たくさんのイベントに関わらせていただきました。

それを参考に2018年は町のお祭りやイベントにできる限り参加し、盛り上げていきたいなあと思います。春には待ちに待った初めての四重奏!!

町が楽園と化するこの時期に合わせておみやげづくりをしたいと考えています。

小松 裕亮

YUSUKE KOMATSU

2017年をふりかえって

今年の4月に協力隊になり、あっという間に1年が経ちました。社会人1年目というのもあり何をやるにしても初めての体験が多く、とても楽しく活動出来ました。びるだんインターンシップでは参加者の立場から担当者になり、参加した学生達が「朝日町のことが好きになりました!」といってくれたのがとても嬉しかったです。



2017年の主な活動

- 7月 納涼あさひまつり出店
- 8月 びるだんインターンシップ
- 通年 自然体験学校「夢創塾」活動補助
- 随時 みらーれTV「さっきーのチャレンジ街道まっしぐら!!」
- 移住ツアー・セミナー参加



裕亮のキ・モ・チ・・・♡

初めての社会人、初めての一人暮らし、初めての農作業など、初めてづくしの1年でした。2016年の夏に朝日町に来て、まさか来年朝日町に移住しているなんて思ってもみませんでした。毎日とても楽しく、移住して本当に良かったと思っています!

木和田 兼弘

KANEHIRO KIWADA

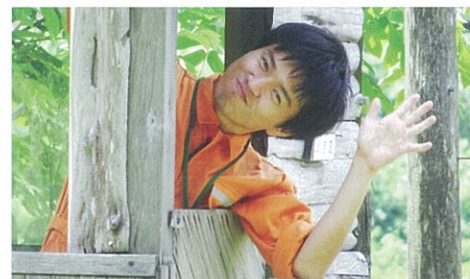
2017年をふりかえって

2017年の1月に初めて朝日町に来て、4月末に朝日町に移住し5月から協力隊として活動をはじめました。移住してすぐに協力隊の活動がスタートしたため、前職とのギャップに戸惑ったり、周りの方に迷惑をかけてしまったりしましたが様々な方に出会い助けてもらい、普通では経験出来ない事を沢山経験したり学んだりした年でした。来年度は、自分の経験を活かしつつ、今までのイベントや活動を継続・発展させ、もっと地域に密着出来る様な活動をしていき、先につながるモノにしたいと思います。



2017年の主な活動

- 6月 ヒミツの場所でホテル観察
- 8月 ヒミツの場所でカブトムシ探し
- 9月 ASAHITレイルラン0to0活動補助
- 10月 ヒミツの場所で星空観察
- 通年 大平地区支援活動



兼弘のキ・モ・チ・・・♡

今現在、町中のアパートに住んでいますが、「せっかく移住したなら、空き家や古民家に住みたい!」気持ちもあり、密かに物件を探しているところです。また、最近は「協力隊でしている活動が、卒業後にもつながる様に考えながら活動しなければ!」と感じることが多いです。これからも新たなチャレンジをしつつ、「朝日町」を盛り上げられたらと思っています。

服部 彩子

AYAKO HATTORI



2017年をふりかえって

昨年の活動は継続しつつ、更にイベントやお手伝いの仕事が増えた1年でした。「朝日町に来てくれる人をもっと増やしたい」「朝日町をもっと知って欲しい」そのような思いで活動に取り組んできました。主催イベントでは町外からの参加者も徐々に増えつつあり、朝日町の協力隊の認知度も高まってきたように思えます。手伝ってくれる方、見守ってくれる方、参加してくれる方がいるからこそ私たちの活動はなりたいです。来年度は自分が前に出るのではなく裏方として色々な活動を応援する立場になりたいと思います。

2017年の主な活動

- 5月/11月/3月 Book Night ASAHI Lib
- 8月 おとまりとしょかん・農業インターンシップ
- 10月 土偶の日 縄文人コスプレイベント
- 1月 ぬいぐるみのおとまりとしょかん
- 随時 あさひ担い手ネット活動補助・アサヒレトロ散歩



彩子のキ・モ・チ…♡

協力隊の任期はあと1年。今になって、「もっと出来たことがあったんじゃないか?」「あれをやっておけば良かった」ということばかりが目につく日々です。ただ、2年間継続してきた仕事の中には卒業後の進路に繋がるようなヒントが沢山散らばっているはず。「イベントなんて開催することに何の意味があるんだ?」と言われることも多いですが…「開催することに意味があったんだ!」と思ってもらえるよう、残りの期間は今まで積み上げてきたことを、新たなステージに展開させていきたいです。(若くはないので、地に足をつけた活動をしていきたい…)

服部 大介

DAISUKE HATTORI



2017年をふりかえって

農事組合法人ハイテック大家荘で農作業に従事し、消防団に入って、訓練や定期巡回に参加。草刈りや江ざらいなどの地域の活動にも、可能な限り参加してきました。慣れない点が多々あり、どれだけお役に立てたか自信はありませんが、地域の問題点や、いわゆる農山村地域で生きる上で必要なことは何かなど、実際に現場に参加し続ける中で、少しずつ解ってきたように思います。

2017年の主な活動

- 5月 田植え
- 6月 麦刈り・大豆植え
- 9月 稲刈り
- 10月 サトイモ・サツマイモ収穫・大豆刈り取り・麦播種



大介のキ・モ・チ…♡

自分が移住した理由は、職場と自宅の往復に終始して極端に狭まった人間関係や、特定の企業からの給料に生活の全てを依存する生活を変えたいと考えたからです。これまで、農作業や地域の活動に参加するなかで、当初の目標に近づくために自分がどう変わっていかなければならないかを考えてきました。来年度は、しっかり時間を確保して、他人事ではなく自分事として出来る事を一歩ずつ実行していきたいです。

遠藤 耕司

KOJI ENDO



2017年をふりかえって

昨年から引き続き、田んぼでの作業が多かったです。朝日町に来る前から農業には関わっていたので、作業については特に違和感なく取り組みました。



2017年の主な活動

- 3月 田おこし
- 4月～5月 田植え
- 6月～7月 大麦刈り・大豆まき
- 8月下旬～9月下旬 稲刈り・米の出荷
- 10月 大豆・大麦刈りなど



耕司のキ・モ・チ…♡

2年間あっという間に終わってしまいました。仕事が忙しく、あまり富山県内を見ることが出来なかったことが心残りです。無事、任期満了で協力隊を卒業します。朝日町のみなさんには大変お世話になりました。今後、実家のある岐阜へ戻りますが、朝日町にはまた顔を出したいと思っています。

伊藤 浩太郎

KOTARO ITO



2017年をふりかえって

1年目となる2016年の行動を反省しつつ、基本をしっかりやれるようにと心がけていました。地道にコツコツと。そんな中で「自分のやりたいこと」をずっと考えていました。協力隊は生涯できるわけではないので、任期後はどうしよう、何をしよう。結局今も答えは出ていませんが、「この2年間の経験は必ず何か役に立つはず」そう考えさせられた1年でした。2018年もまだまだいっぱい勉強し、いっぱい考えて少しでも答えが見つけれたらと思います。

2017年の主な活動

- 5/6月 トマト収穫
- 8月 ヒスイ海岸マリンフェスタスタッフ
- 9/10月 米収穫
- 12/1月 電照菊出荷など多種多品目
- 通年 農業支援・協力隊主催のイベント等の手伝い



浩太郎のキ・モ・チ…♡

自分はサブカルチャーが大好きです。ネットもよく見るし、いろんなゲームもする。グッズだっていっぱい集めている。サイリウムを使ったパフォーマンスも練習している。でもこれらって協力隊の活動にはほぼ役立っていない。ただの「趣味」だ。でも、この「趣味」は意外と持っている人が多い。(自分がかんまり偏っているだけで…)いつかはこれを活かして、何か活動できないかと考えています。「ゲームでコミュニケーションを深めよう」みたいな。もし実現できたら、皆さん是非参加していただけたらと思います。こんな自分ですが、今後ともよろしくお願いします。

中村 彩乃

AYANO NAKAMURA

2017年をふりかえって

8月に兵庫県西宮市から移住し、農事組合法人ふながわで働き始めました。ふながわでは、主にコメと大豆を作っていますが、機械化された農業に驚きました。しかし、田んぼの水管理や籾摺りなど、長年の経験に基づいて作業する部分も多く興味深く感じました。ふながわは、主要メンバーの多くがおっちゃん(失礼!)であり、どうしてもおっちゃん目線で運営されがち。2018年は、ふながわに新しい風を送り込むことが出来ればと思っています。また、四重奏だけでないふながわをアピールしたいです!



2017年の主な活動

- 8月 協力隊として活動スタート・田んぼの草抜き
- 9月 ふながわ通信秋号発行・稲刈りと籾摺り
- 10月 イベント用コメ袋作成、クラフト朝日ブース出展
- 11月 シロネギ出荷作業・舟川新公民館パンフレット作製
- 12月 ふながわ通信冬号発行



彩乃のキ・モ・チ…♡

朝日町での暮らしは、町の習慣やルールにびっくりすることだらけです。かつて、インドネシアや西アフリカのセネガルで暮らしたことがありますが、同じくらいいやそれ以上の驚きです。それらのルールが、言わば治外法権で、今まで当然だと思っていた自身の価値観を崩さなければならず、なかなか苦労しています。ただ、聞いてみると、地元の人でも「これはおかしい」と思っている習慣やルールも多いようです。移住者と地元の人の方が、もっと互いを理解する必要があると思います。

鈴木 理沙

RISA SUZUKI

堀一 敦子

ATSUKO HORIICHI

2017年をふりかえって



今年の11月から地域おこし協力隊となり、まだまだ活動歴も浅いのですが農事組合法人とのまち営農組合のみなさんと白ネギを出荷するまでの作業をしていました。今年から栽培をはじめた白ネギなので、まだ機械化の導入が出来ておらず、引き抜いた白ネギをみなさんと一緒に畑の中で手で1本ずつ丁寧に皮を剥くというなんとも素敵な集落農業らしい姿で毎日作業をしていました。朝日町内のいくつかの小売店で販売も行いお客様に「あんたのこのネギは美味しいね〜!また買うわ!」と声をかけていただき、少しずつながらも殿町産の白ネギの認知度が増え、これも農業のやりがいの内のひとつなのだと実感しました。来年度は一から携わるので本年度での反省点を活かし、自分たちなりに工夫をして生産量、認知度を上げていく活動をしたいです!

2017年の主な活動

- 10月 下旬より白ネギの収穫・皮むき・選別・販売・配達など
- 12月 白ネギ・米 資料作成・経理手伝い



理沙&敦子のキ・モ・チ…♡

今年始めて、収穫した泥付きの白ネギを運んだり、皮を剥いたりという作業をしたのですが、出荷にあたってネギの青い葉の部分が折れていたりするとダメなどの規定があります。とても柔らかい殿町の白ネギです。白ネギを運ぼうとする…白ネギ折れる。白ネギを剥こうとする…白ネギ折れる。一点に少し力が加わっただけで、すぐネギの青い葉の部分が折れてしまいます。余りにも繊細な白ネギに私たちの心が折れそうになりました。丁寧に気をつけながら持ち上げても、重力に負けて折れてしまう時もあり…。中々扱いが難しい繊細な白ネギと来年はもっと上手につき合っていけるよう努めたいと思います。

年間活動カレンダー

4月

小松隊員加入
田植え
#いいねか朝日フォトコンテスト



5月

Book Night ASAHILib
カターレ朝日町サンクスデー
木和田隊員加入



6月

横山隊員加入
桃収穫
ヒミツの場所てホタル探し
協力隊視察ツアー



7月

あさひまつり
移住セミナー
ヒスイカップレセプション



8月

農業インターンシップ
おとまりとじよかん
#いいねか朝日フォトコンテスト
移住セミナー
中村隊員加入
びるだんインターンシップ
ヒミツの場所てカブトムシ探し



9月

お米収穫
レセプション
全国ビーチボール大会



10月

オータムフェスタ
ボクとワタシの大冒険
移住セミナー
土偶の日イベント



11月

鈴木編一隊員加入
クラブとあさひ
#いいねか朝日フォトコンテスト
ネギ・サトイモ収穫
びるだんアートフェスタ
セネガル料理イベント
Book Night ASAHILib



12月

玉ねぎ植え付け
クリスマスジャズナイト
受験生に応援メッセージを届けよう



1月

移住セミナー
おとまりとじよかん
ビニールハウス取り付け



2月

移住セミナー
カフェめぐりイベント
瀬川隊員加入
田おこし



3月

Book Night ASAHILib
活動報告会



その他活動

- あさひシーサイド
ドッグラン
- 夢創塾
- 中学校出前授業



- まめなけ新聞
- アサヒレトロ散歩
- あさひ担い手ネット
- 太平地区支援活動

